

忠海の資源を生かした魅力あるまちづくりを目指して

忠海まちづくり通信

EFFORTS TO ATTRACTIVE TADANOUMI

平成28年11月1日

創刊号

発行：竹原市建設部都市整備課
TEL 0846-22-7749

忠海の魅力あるまちづくり計画検討にむけて 忠海プロジェクト（仮）が始まります

忠海のまちをよりよいものにするために、この通信では、まちづくりの話し合いの経過報告を中心に、忠海のまちづくりの取り組みについて、地域の皆さまに情報発信していきます。

いま、まちづくりを考える理由

三次浅野藩の御用港であった忠海港は、古くから海運の要衝として繁栄し、海とのつながりが強かったことから、古い町屋などの建築物や神社・仏閣や、小早川一族の水軍城である賀儀城跡などの歴史を感じさせる資源が多くあります。最近は、「うさぎの島」として知名度がアップした大久野島にたくさんの観光客が訪れるなど新たな地域資源となっています。

しかし、愛媛県大三島の玄関口として、また広島空港からも近い地理的優位性も持ちながら、大久野島に観光客が集中しており、ほかの魅力ある地域資源が観光に活用されていません。特に、最近が高齢化などにより空き家・空き店舗が増えるなど、地域の魅力が失われつつあり、観光客の回遊性向上や新たな魅力の創出につながない状況があります。

今、忠海は多くの観光客に注目されながらも、まだ数多くの地域資源、観光資源を持ち、地域の再生・活性化への大きなポテンシャルがあります。これらの地域資源を有機的に結びつけ、地域活力の再構築、魅力ある景観形成などをすすめ、人が元気に生活し、魅力あふれる「忠海」を目指します。

ただのうみの資源・魅力



元気で魅力ある忠海へ あなたの力を貸してください

忠海魅力あるまちづくり計画検討ワークショップ

忠海プロジェクト（仮）

の参加メンバーを募集します！

忠海地区では、人口の減少や高齢化が進む一方、近年では、大久野島が「うさぎの島」として注目を集め、多くの観光客（年間約25万人）が訪れるなど、新たな状況も生まれています。

忠海は古くから海運の要衝として繁栄し、小早川一族の水軍の拠点でもあった歴史から、床浦神社、賀儀城跡などの歴史資源、宮床海岸や黒滝山などの自然資源、潮待ち港として栄えた街並み、神社・仏閣などの資源が多くあります。また、家庭用ジャムのトップメーカーであるアヲハタなどの産業資源や、多彩な地域のお祭りなどの無形の文化的資源もあります。

こうした地域資源の活用を通じて、地域の活性化とデザイン性と統一性のある景観づくりを進め、地域の人々が元気に生活し、訪れる人にも魅力ある忠海をつくるため、**地域の皆さんの力で忠海の将来を創る「忠海プロジェクト（仮）」（ワークショップ）を開催することといたしました。**

みなさまの積極的なご参加をお待ちしています！

活動の内容



新たな視点からの忠海の地域資源の掘り起しや再発見



自分たちにできるまちづくりプロジェクトの提案や試行



地域を元気にし、魅力あるものにする将来ビジョンの作成



まちづくりを持続し、発展させるための知恵や工夫の検討

忠海魅力あるまちづくり計画検討ワークショップ

忠海プロジェクト（仮）

👉 対象地区・活動時期

- ・J R 忠海駅を中心とした徒歩圏内
- ・平成 29 年 2 月～ 12 月にかけて
全 4 回（予定）

👉 募集メンバー 20 名程度（予定）

- ！ 忠海のために、自分のできる何かをしたい方
- ！ 忠海を楽しく元気にするアイデアをお持ちの方
- ！ 新しいまちづくりに関心のある方 など

👉 申込み方法・お問合せ先

- ・ 申込み用紙にご記入の上、下記まで持参、郵送、FAX、E メールにより、ご提出ください。
- ・ お問い合わせ：竹原市役所 建設部 都市整備課 都市計画係（古川、伊藤）
☎ 電話番号：0846-22-7749 FAX：0846-22-8579
✉ E メール：toshi@city.takehara.lg.jp ☎ 725-8666 竹原市中央 5 丁目 1 番 35 号
- ・ 忠海支所にも申込み用紙の投函箱を設置いたします。
- ・ 締切：平成 28 年 12 月 2 日（金）必着 ※申込み多数の場合は人数を調整させていただく可能性があります

申込み用紙

✂ キリトリ

氏 名： （性別： 男 / 女 ）

生年月日： 昭和 / 平成 年 月 日

現住所：

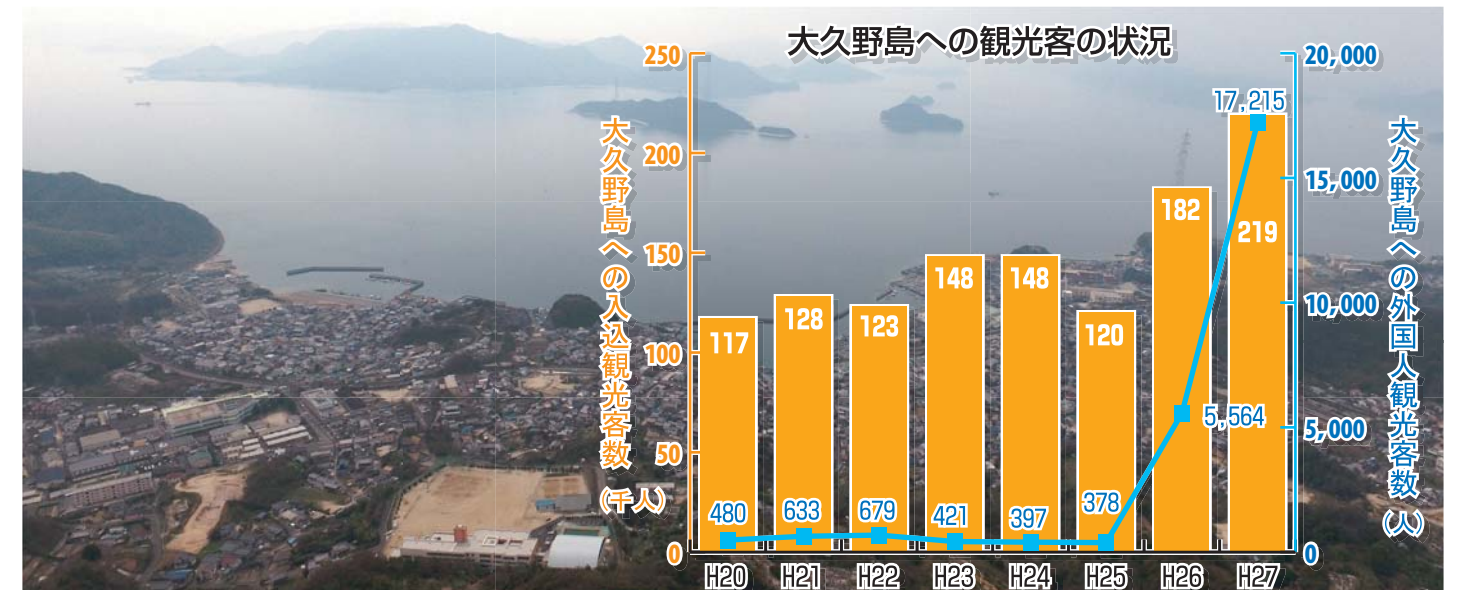
電話番号：

職業： 勤務先：

忠海の好きなところ

忠海のためにしたいこと

✂
キリトリ



忠海プロジェクト（仮）とは

忠海のまちづくりの課題に対して、市民の皆さまと力を合わせて忠海の将来を創るワークショップとその取り組みを「忠海プロジェクト(仮)」として始めることとしました。ワークショップでは、意見交換や情報共有の場だけでなく、事業や取り組みなどの具体的アクションを生み出し、目に見えるわかりやすい活動を目指します。

●新たな視点からの地域資源の発掘

まちづくりでは、これまで地域では当たり前と考えていたことや、役には立たないと思っていたものなど、意外なものが資源となりえます。必要に応じてアドバイザーなどと連携し、地域外の人視点、常識にとられない視点も考えます。

●事業を創出するワークショップ

「変わる」、「やってみる」など、小さな取り組みがまちづくりのきっかけになります。目に見えるわかりやすい成果を意識したワークショップを目指します。

●実験的な取り組みの試行

公園や道路、駅など公共空間を活用した心地よい空間づくりなどを試行的に行うことで、忠海のよさを感じて頂くなど、実際のまちづくりとその変化を体験してもらえる取り組みを検討します。

